



繋がる日本プロジェクト
運営委員会2025-2026



YOUTH EVENT COMMISSION

proposal

Date: August 20, 2025

Presenter: 安藤匠太 (ユース・イベント・コミッション実行委員会・代表)





AGENDA

▶	Introduction	01
▶	Project Overview	02
▶	Market Analysis	03
▶	Proposed Solution	04

▶	Implementation Plan	05
▶	Benefits and Impact	06
▶	Our Team	07
▶	Conclusion	08

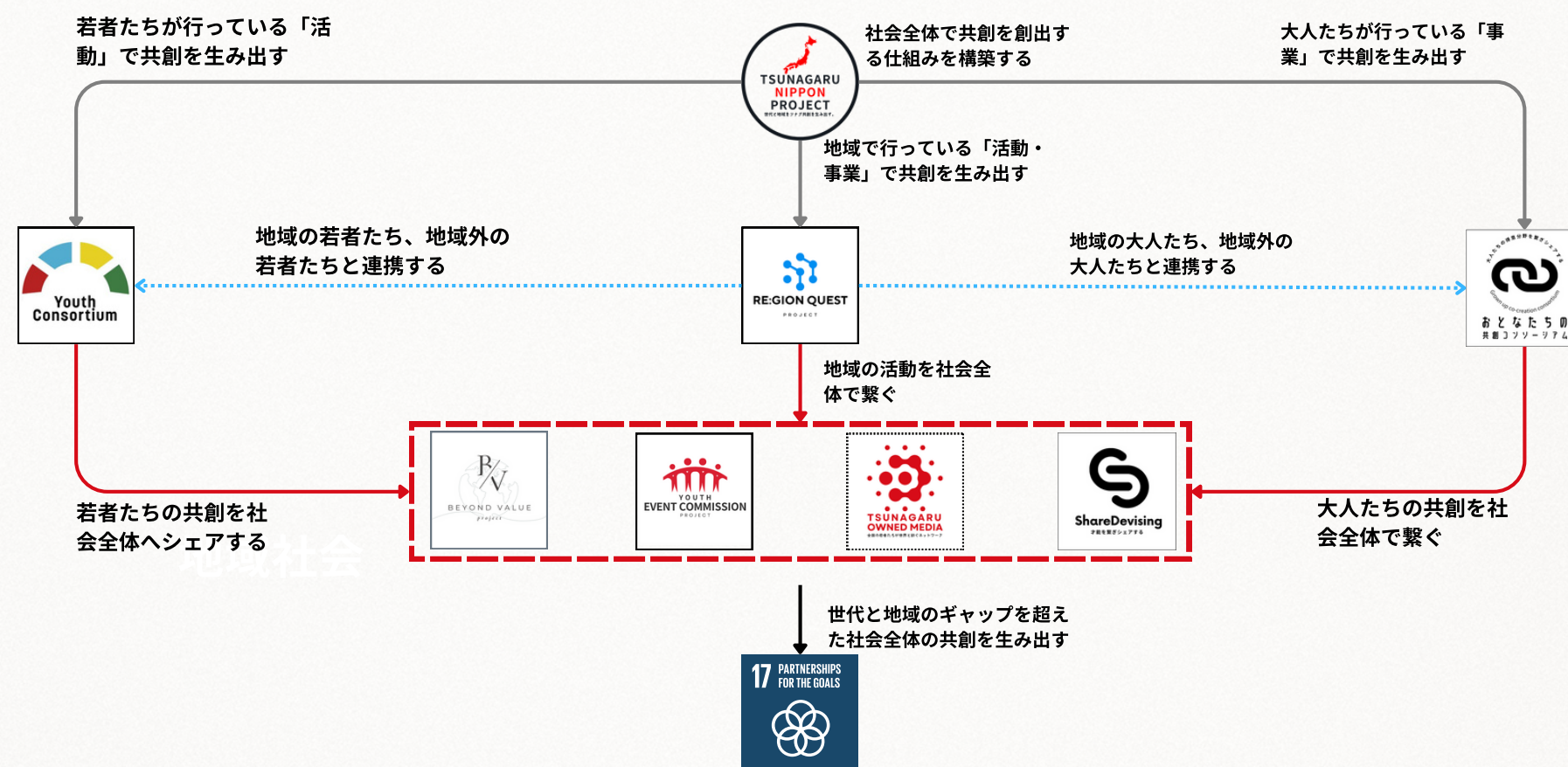
Purpose of the Proposal

INTRODUCTION

「ユース・イベント・コミッション」とは、世代と地域のギャップを超えて共創を生み出し持続可能性社会の実現に寄与するプロジェクト「繋がる日本プロジェクト」において、全国各地の学生が中心となり多様なイベントを開催することによって、地域を活性化し地域の人々の選択肢と可能性を広げる共創プロジェクト

「繋がる日本プロジェクト」の使命

世代と地域のギャップを越えた共創を生み出すための、
「場所と機会の創出と提供」
によって持続可能な社会の実現に貢献する



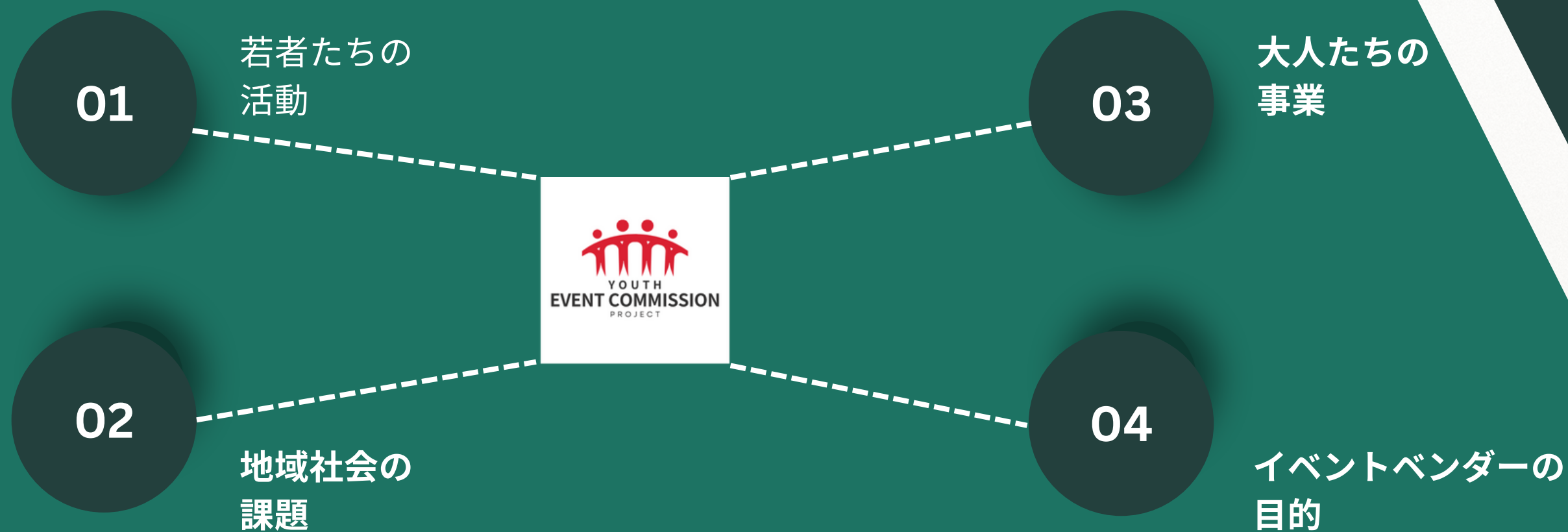
持続可能性実現へ寄与する



Purpose of the Proposal

INTRODUCTION

「ユース・イベント・コミッション」では、全国の学生団体中心の若者たちが、全国の各地域や大人たちとの共創によって、様々なイベントを通じ地域を活性化するとともに、若者たちが地域における選択肢と可能性を広げる、若者たちのプロジェクトです。



Purpose of the Proposal

OVERVIEW

Background

少子化の加速と若者たちの地域離れが、地域社会の衰退につながっていく中で、若者たちと大人たちの、世代を超えた共創を「イベント」によって生み出すことで、若者たちの地域社会における選択肢と可能性を広げるとともに地域の活性化を促進させる

Mission Statement

全国各地の若者たちが「イベント」で共創を生み出し、地域の活性化へ繋げ、社会全体の活性化へ繋げることによって、若者たちの活動でサステナブルを実現させる



MARKET ANALYSIS

▶ 人々が集まる機会を提供する

スポーツ、カルチャー、ミートアップ、などの様々なイベントによって、人々が集まる機会を提供する

▶ 人々が集まる場所を提供する

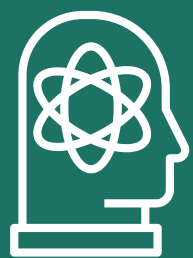
イベントを通じて、地域社会や企業などとの共創を創出することによって、人々が集まる場所を提供する

▶ 人々の交流と共創を生み出す

人々が集まる機会と場所を日本各地で創出することによって、世代と地域を超えて、目的と課題ごとの競争を生み出す

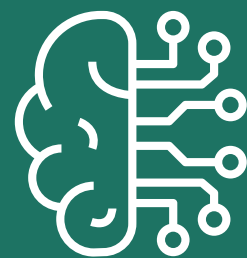


PROPOSED SOLUTION



sports

ベースボール、バスケットボール、フットボール、など競技性が高いスポーツから、モルックやゲートボール、鬼ごっこなど、老若男女誰もが楽しめるファン系スポーツまで。



culture

各種ワークショップ、音楽、ダンス、各種日本文化、芸能、食、展示会、お祭り、アイデアソン、ハッカソン、など。



meetup

若者たちが集う、大人たちが集う、世代を超えて集う、地域を超えて集う、同じ目的で集う、同じ課題で集う、強みを繋ぎ合う、ための機会と場所の提供

IMPLEMENTATION PLAN

エリア毎で展開する

北海道、東北、関東、北信越、東海、関西、中国、四国、九州、の全国で展開する

全国の若者たちと展開する

全国各地で様々な活動を行っている大学生団体を中心に展開する



多様なイベントで展開する

スポーツ、カルチャー、ワークショップ、ミートアップ、など様々なイベントで展開する

共創で展開する

各種イベントベンダー、イベント制作会社、などとの競争によって展開する

PRODUCT PLAN

SPORTS



競技系



ファン系



ラン・ウォーキング系



フィットネス系



eSports系

PRODUCT PLAN

CULTURE



お祭り系



音楽系



ダンス系



ショー系



学園祭系

PRODUCT PLAN

MEETUP



世代間交流会系



ワークショップ系



展示会系



ビジネス交流会系



コンテスト系

CASE STUDY



モルック・マニア



地域交流イベント



ワークショップ



中日スポーツ交流



オンライン交流会



ARスポーツ



ハイブリッドセミナー



サークル対抗イベント



大学園祭

AREA

※可能地域含む
※2025年5月末現在

(3)北信越エリア：

新潟県、富山県、長野県

(2)関西エリア：

大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

(1)中国エリア：

岡山県

(3)九州エリア：

福岡県、熊本県、宮崎県、沖縄県

(3)北海道エリア：

旭川市、岩見沢市、函館市

(3)東北エリア：

青森県、岩手県、宮城県、福島県

(2)関東エリア：

茨城県、栃木県、埼玉県、東京都、
神奈川県

(2)東海エリア：

静岡県、愛知県、三重県

(1)四国エリア：

愛媛県

📍 東日本 📍 中日本 📍 西日本



BENEFITS AND IMPACT

▶ Impact on society | 社会への影響

全国各地の若者たち、大人たち、地域、をそれぞれの目的と課題で、世代と地域を超えた共創を、イベントを通じて生み出す仕組みを学生中心の若者たちが中心となり創出することによって、持続可能性を実現する。

▶ Key Benefits | 主なベネフィット

全国各地の地域が、少子化の加速や若者たちの流出によって後継者や働き手不足が大きな課題として取り上げられる中において、若者たちが中心となって人々が交流する機会と場所の提供を行うことによって、世代を超えた課題解決に取り組むことが可能

OUR MANAGEMENT TEAM



SHOTA ANDO

代表

芝浦工業大学院
千葉県出身
2002年生まれ



CHIHIRO SATOMURA

副代表

SHAREBE LLC代表
兵庫県出身
1992年生まれ



TAKUMI EGAWA

副代表

株式会社ラウレア
福島県出身
1991年生まれ

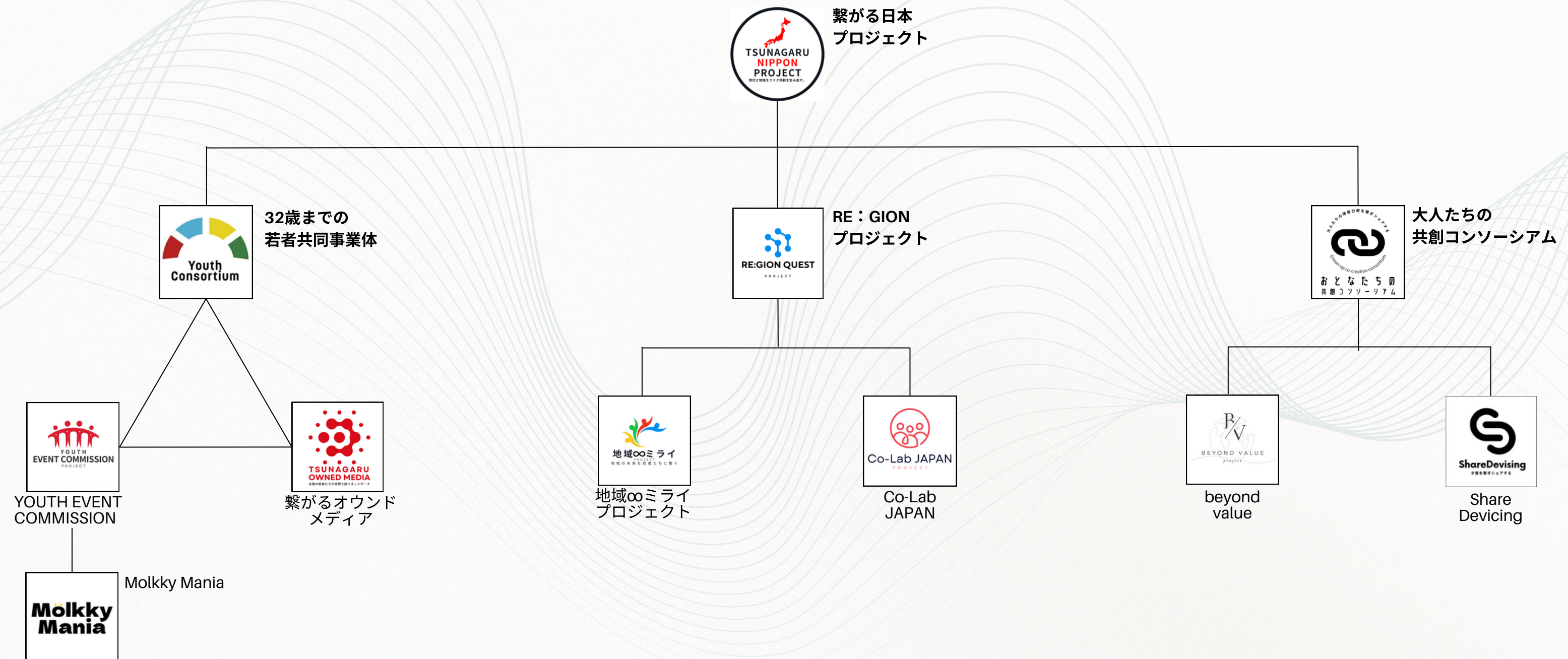


繋がる日本プロジェクト

PARTNER

世代と地域のギャップを
超えた共創を生み出し持
続可能性の実現へ寄与す
るプロジェクト

SYSTEM



STRUCTURE

代表
安藤匠太

東日本担当副代表
江川 巧

東日本エリア本部

西日本担当副代表
里村千尋

西日本エリア本部

北海道エリア
支部

東北エリア
支部

関東エリア
支部

北信越エリア
支部

東海エリア
支部

関西エリア
支部

中・四国エリア
支部

九州エリア
支部

大学支局

※2025年5月末現在

SUPPORTER

自治体

札幌市、盛岡市、宮城県、仙台市、福島県、福島市、笠間市、宇都宮市、那須町、さいたま市、川崎市、新潟市、南砺市、砺波市、石川県、福井県、山梨県、北杜市、長野市、豊橋市、安城市、新城市、春日井市、名古屋市、松原市、高石市、三田市、洲本市、橿原市、鳥取県、島根県、新庄村、広島県、山口県、今治市、松山市、砥部町、高知県、高知市、北九州市、中間市、福岡市、佐賀県、長崎県、長崎市、大分県、高原町、鹿児島県、名護市、読谷村、他

企業・団体 (抜粋)

岩見沢まちづくりコンソーシアム、株式会社THE PASSION、合同会社Wez、日本リベラルアーツ協会合同会社、株式会社Lirem、株式会社エンターラル、TERAFUL、株式会社Qwi、株式会社Ganaxt

合同会社TUGBOAT、株式会社東宏トレーディング、株式会社ネクスター、株式会社ワイズ、株式会社Uプロジェクト、株式会社コンサイズ、一般社団法人日本プロ野球外国人OB選手会、株式会社与志田、メディアラグ株式会社、QUINTBRIDGE

株式会社ベガルタ仙台、東京ヴェルディ株式会社、一般社団法人チャレンジゴルフツアー協会、株式会社Kuriate Associates、株式会社meleap、株式会社ビートル、スポーツクラブNAS株式会社、ダイワロイアルゴルフ株式会社、公益社団法人関西経済連合会、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会、株式会社よしもとエリアアクション、吉本興業株式会社、株式会社アソウ・ヒューマニーセンター、イオン・シグナ・スポーツ・ユナイテッド株式会社、株式会社Playable、合同会社シナリオ、エイベックス株式会社、全国農業協同組合連合会、日本生活協同組合連合会、東都生協協同組合、岡山県中小企業団体中央会、株式会社テレビ新潟放送網、株式会社チューリップテレビ、株式会社毎日放送、名古屋テレビ放送株式会社、岡山放送株式会社、テレビ長崎株式会社、エフエム長崎株式会社、名鉄観光サービス株式会社、株式会社阪急交通社、株式会社神姫トラベル、株式会社バシットエンタテインメント、株式会社ブースト、Sansan株式会社、株式会社White Crow、株式会社スーパーステーション、株式会社m-lab、株式会社モルテン、RX Japan株式会社、株式会社VECTRIX JAPAN、株式会社エンセス、株式会社新東通信、株式会社北日本新聞社、株式会社神戸新聞事業社、株式会社デイリースポーツ案内広告社、オリックス野球クラブ株式会社、株式会社楽天野球団、福岡ソフトバンクホークス株式会社、公益社団法人全国野球振興会、一般社団法人日本プロ野球名球会、公益財団法人日本ゴルフ協会、一般社団法人日本モルック協会、QUINTBRIDGE、一般社団法人ナレッジキャピタル、Flat Collaboration合同会社、Brand Maker Enabler株式会社、イーオーガナイザー研究所、アルムナイ株式会社、株式会社ePARA、株式会社アーク、株式会社APITEC、ヒューマンアカデミー株式会社、株式会社ジュントス、渋谷スクランブルスクエア株式会社、株式会社東京スタジアム、株式会社東京ドームシティ、株式会社大阪シティドーム、株式会社東京スタジアム、三井住友銀行、大阪信用組合、公益社団法人ふるさと回帰・移住交流推進機構、他

CONCLUSION

Summary

全国各地の大学生中心の若者たちが行っている様々な活動における最大の課題は、知識や経験不足に起因する資金不足が「慢性化することによって、活動の継続性に欠けること。

その課題を、世代と地域を超えた共創を生み出すことによって、大人たちの強みを若者たちの活動へ活かすことで、若者たちの能力を社会全体でシェアする新たな人材を活かす仕組みを構築し日本全国で機能させる

Call to Action

- ・ 若者たちの活動を繋ぎ「イベント」で共創を生み出す
- ・ 若者たちの活動を地域と繋ぎ「イベント」で活性化を促進する
- ・ 若者たちと地域の共創を企業との事業と繋ぎ「イベント」で社会全体の共創を生み出す



CONTACT US

事務局 (SHAREBE LLC内)

Phone

050-7110-7460

Email

contact@tsunagaru-nippon-project.jp

Website

tsunagaru-nippon-project.jp

Location

Chuo Ward, Osaka City



YOUTH
EVENT COMMISS
PROJECT